

光と緑の風通信

発行/2010年6月25日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL024-547-1111 (代)



より輝くために

学部長 鈴木 順造



ご入学おめでとうございます。私たち教職員は、皆さんのそれぞれの夢の実現のために、あらゆる面で応援いたします。

創造力の修得、さらには社会問題に関する知識などについても日々研鑽に努めることが大切

です。学問とは、知識を蓄積するだけではなく、人類の叡智にまで昇華させることです。自らの夢に向けて挑戦してほしいと思

大学で学生生活を送る時代は、人間の能力がもっとも伸びる時期だと思えます。大学では

ます。また、豊かなコミュニケーション能力やものごとを多面的に理解し探求心に富む豊かな

自分の意思で使うことができま

ようこそ!!

光が丘の学舎へ

研究科長 横田 素美



看護学部ならびに看護学研究科に入学された学生の皆様、

います。

“ご入学おめでとうございます。誠に申し訳ないから一転し、春を迎えた光が丘の大学周辺は、まさに“いのちの息吹”を感じる美しい時期を迎えて

春、木々が若葉をつけ息づいている姿を目の当たりにすると、脈々とその生命をつなぐ強さに感嘆させられます。そして、自分自身も、”つなぐべき大切なもの”をしつかり

を感じる美しい時期を迎えて

と見定めて、次の世代に渡していくかなくてはと心を新たにします。

ポーツ、ボランティアなど、いろんなことに挑戦してください。主体的に、常に思考し、まわりのものからすべてを吸収するのだという貪欲な姿勢で、学生時代というかけがえのない時間を一瞬たりとも無駄にすることなく、濃密に、深く広く過ごされることを望みます。また、大学は皆さんと教職員の共同の場でありますので、教職員に積極的に話を持ちかけたり、相談してください。

皆さんの前途に幸多いことを祈念しています。
(すずき じゅんぞう)

社会状況が大きく、しかも速く変化している現代においても、看護の中で脈々と受け継がなくてはならないものを、ここでの学びを通して獲得し、深めて下さい。

ようこそ！皆さんの入学を心よりお祝いします。
(よこた もとみ)

新入生へ 贈る言葉

学務委員長 太田 操



入学してから数ヶ月、皆さんはどのような大学生活を送っているだろうか？楽しい？面白い？それとも苦しい？あるいは大変な中でも充実感を味わっているだろうか。もしかしたら既に絶望感を感じている人もいるかもしれない。いずれにしても大学生生活はスタートを切った。時は流れている。ただ呆然と立ち尽くしている訳にはいかない。遅々とした歩みであつても、階段を一気に駆け上がるようであつても、歩き続けることが大事なのだ。

歩み続ける過程の中で、何か困難にぶつかると、私たちは往々にして「高校時代は良かった」「大学は良かった」「昔は良かった」という考えに陥りがちである。しかし、このようなノスタルジックな「あの時代は良かった」論からは何も生まれえない。生きていく世界を変えることはできない。「今」という「現実」「真相」を過去という幻想に逃避することなく正面から受け止める事は、時に辛いことであるが、きっと出来ると思う。これから、どんな世界を切り開いて変革していくて欲しい。皆さんの歩く足先は、「未来」に向いているのだから。（おおた みさお）

新入生のひとこと

新しい環境になって
新鮮な声を聞きました！

池浦 里花 ●新入生

念願の看護学生になることができ、とても充実した毎日を送っています。地域に貢献できる看護師になれるように頑張りたいです。

池田 里実 ●新入生

福島県立医科大学に入学することができてとても嬉しく思っています。これからは多くの体験や人との出会いを大切に、夢を実現するために努力していきたいと思ひます。

石川 愛里 ●新入生

入学してから一週間経ち、徐々に大学に慣れてきました。看護師として4年後働けるように、まずはこの1年で多くのことを学び、努力しつつもサークルにも参加し、充実させたいです。

石川 真紀 ●新入生

憧れだった医大に入学できて、とてもうれしです。まだ不安もありますが、勉強やサークル活動など初心を忘れず頑張りたいです。

大根田 匠 ●新入生

看護学部なので女子が多くて不安です。男子とは仲良くなれましたが、女子とも仲良くできたかと思っています。よろしくお願ひします。

小川 真末 ●新入生

栃木から来たので、今年は福島のことをもっと知ろうと思います。また逆に栃木のことも知ってもらおうと思います。

小野 文江 ●新入生

福島医大に入学することが出来、とても嬉しく思っています。自分の意識をしっかり持ち、自ら積極的に日々の学習や部活動に取り組んでいきたいと思ひます。

影山 優奈 ●新入生

医大に入って、専門的な看護を学ぶ中で、自分の理想の姿に少しでも近づけたらいいと思ひます。また、課外活動にも積極的に参加し、充実した学生生活をおくろうと思ひます。

書田 香菜 ●新入生

私は積極的に自学していくことを心掛けていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

須藤 彩香 ●新入生

福島県立医科大学看護学部へ合格できてとても喜ばしいかぎりです。今後は今までの以上に努力をし、学業、部活動共に充実させていきたいと思ひます。

高岡 芽生 ●新入生

第志望校であった福島県立医科大学に入学し、数日が経ちました。まだ不安が残りますが、自分自身の可能性に限界をつくらず、自己研鑽を積み努力したいと思ひます。

高木 恵梨 ●新入生

将来、患者さんから信頼される看護師になるために、勉学に励みたい。また、多くの人との交流を大切に、人間性を磨きながら、サークル活動など大学生活を楽しみたい。

武村 直也 ●新入生

社会人だった私にとって、もう一度大学に入って看護師をめざすことは夢にも思ひませんでした。与えられたチャンスを最大限に生かし、悔いのない学校生活を送りたいです。

千代 百梨香 ●新入生

福島県会津出身の千代百梨香です。大学生活を充実させるためにも、部活も勉強も意欲的に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

角田 歩性 ●新入生

4年間しっかり勉強していくことはもちろん、部活や行事にも積極的に参加し、人とのつながりを大切に、いろんな意味でbigな看護師になりたいです！いや、なります！

寺島 優太 ●新入生

数少ない看護男子ということで、心細い面はありますが、4年間を共に過ごす同じ学部のみならず、頑張りたいたいのでよろしくおねがいします。

加藤 綾乃 ●新入生

将来は日々進歩し、努力し続けられる看護師になれるように、毎日の大学生活で沢山のことを吸収したいと思ひます。文武両道を目指し頑張ります。

加藤 沙紀 ●新入生

夢だった専門看護師に一步近づけた事を嬉しく思ひます。不安もありますが、勉強や部活など沢山の経験を通して、成長につながるような大学生活を過ごせるよう頑張ります。

加藤 修平 ●新入生

部活と勉強を頑張つて、毎日を楽しく過ごしていきたいです。

河内 麻実 ●新入生

福医大に入学できて本当にうれしです。大学では、勉強や部活を頑張る、大学生活を充実させたいです。

川島 由依 ●新入生

大学生活への不安は多少ありますが、新しい出会いを大切に、自分の夢を叶えるためにも充実した大学生活を送りたいです。楽しい大学生活になればいいと思ひます。

河田 瀬那 ●新入生

福島医大へ入学して一週間、レポートや単位など、まだ戸惑うことはあります。看護師になるには技術や患者への接し方など学ぶことが沢山あるので4年間頑張りたいたいです。

川田 桃子 ●新入生

県立医大に入学できたこと嬉しく思ひます。医療界に飛び込むという自覚を持ちながら、将来、福島県に貢献できるよう頑張ります。

菅野 亜美 ●新入生

様々な医療知識や技術を身につけた看護師になれるよう、努力したいと思ひます。

富塚 真梨奈 ●新入生

4年間の大学生活が充実したものとなるよう勉強と部活を両立させて頑張りたいたいです。

長澤 莉奈 ●新入生

大学では勉強はもちろんですが、部活も頑張りたいたいです。また、その他にも学校行事にも参加して楽しみたいです。

永島 佳奈子 ●新入生

福島県立医科大学看護学部へ合格できてとても嬉しです。大学生活では、学業と共に部活動などにも積極的に取り組み、充実した4年間になりたいと思ひます。

長根 結花 ●新入生

勉強を頑張るつつ大学生活を楽しみたいです。

中山 香 ●新入生

勉強はもちろん、大学ならではの行事や、多くの人たちとの交流も精一杯楽しんで、充実した大学生活を送りたいと思ひます。

中山 尚美 ●新入生

同じ志を抱いた人たちが集まる大学では、お互いを高め合うことで少しずつ自分の目標に近づけるはず。初心を忘れることなく、憧れの助産師になれるよう頑張ります。

橋本 美穂 ●新入生

私は体のケアと心のケアをできる看護師になりたいと思ひます。そのため大学の友やサークル活動、地域の人との交流を通して、日々思いやりの心を学んでいきたいです。

橋本 怜奈 ●新入生

憧れの大学に入ることができて嬉しです。この4年間の大学生活を充実したものにできるよう頑張りたいたいです。立派な看護師になることを目指して頑張ります。

菊池 彩夏 ●新入生

福島県立医科大学の看護学部へ入学できてとてもうれしです。これから4年間、勉強も部活も精一杯頑張りたいたいです。

木目沢 顕治 ●新入生

勉強やサークル活動などに積極的に取り組み、充実した大学生活を送りながら、知識や技術をしっかりと身につけて一流の看護師になれるようがんばりたいと思ひます。

櫛田 早紀 ●新入生

こんにちは。ついに大学生活がスタートしました。初めての家族と離れた生活に戸惑いつつも毎日楽しく過ごせています。とにかく今はみんなの顔と名前を早く覚えたいです。

熊田 ちひろ ●新入生

看護学の基礎をしっかりと学習することに努め、その中で人とのつながりを深めていくことで、自分という人間の質を更に高めていきたい。

國分 三鈴 ●新入生

1つは看護師の免許をとるために勉強を一生懸命やること。もう1つは大学生活を一杯楽しむこと。何事にも前向きに取り組んでいきたいと思ひます。

後藤 文香 ●新入生

高校の先生に頂いた「文香はきっと良い看護師になるよ」という言葉を胸に、進学しました。女性の味方のような存在になるのが夢です。文武両道の生活を送りたいと思ひます。

小松本 美咲 ●新入生

私は、大学に入って看護師としての知識を身につけていきたいと思ひます。また、多くの活動に参加して人と心とまわり成長していきたいと思ひます。

近藤 友紀 ●新入生

憧れていた福島県立医科大学へ入学でき、本当に嬉しいです。勉強と部活を両立し、充実した大学生活を送ることができるよう頑張りたいたいです。

齊藤 愛未 ●新入生

4年間の大学生活で、看護の知識を身につけるだけでなく、人として成長したいと思ひます。夢の実現に向けて頑張ります。

酒井 ひかる ●新入生

慣れない事ばかりで不安がたかたかです。でも、たくさん知り合いを作つて、部活動と学習をきちんと両立して充実した大学生活を送りたいです。

笹 紘美 ●新入生

様々なことを自ら学び、成長していきたいと思ひます。また、部活や学部で出会う人との関わりを大切に、これからの4年間を充実させたいと思ひます。

佐藤 彩香 ●新入生

私は小3からバレーをやつてきて磐城一高出身です。立派な看護師になれるよう皆さんと共に頑張りていきたいと思ひます。で、どうぞよろしくお願い致します！

佐藤 あゆみ ●新入生

私は大学での生活を通して、多くのことを学び、今よりも成長できるような日々を送りたいと思ひます。人間としても大きくなるために、充実した生活を送りたいです。

佐藤 恵美 ●新入生

講義や部活動、友人との会話などを通して、日々新しいことを自らに取り込み、豊かな人間性を持ち適切な看護を提供できる看護師になれるよう努力したいと思ひます。

佐藤 成美 ●新入生

将来、看護師になれるように、勉強も部活も両立させて、充実した4年間を過ごしたいです。

佐藤 真奈美 ●新入生

私は、この大学へ入学できてうれしです。勉強と部活を両立して大学生活を充実させたいです。

澤田 成美 ●新入生

私はこの大学へ入学できて嬉しです。私は大学では勉強・部活・バイトの両立を頑張りたいたいです。

三瓶 真美 ●新入生

入学できてうれしと思ひます。勉強と部活を両立させることができるよう、がんばりたいと思ひます。

渋谷 愛子 ●新入生

福島医大看護学部へ入学できて、とても嬉しいです。看護師になることは小さい頃からの夢です。これからの大学生活で人との関わりを大切に、多くを学び頑張りたいたいです。

白岩 美咲 ●新入生

これから4年間、多くの知識を吸収しつつ勉学に励んでいこうと思ひます。またサークルや部活を通して今までやらなかったことに取り組んで、様々なことを経験していきたい。

鈴木 菜穂美 ●新入生

福島県立医科大学へ入学し、看護師という自分の夢に一步近づけることができました。大学でいろいろな学習、体験をし、充実した学生生活を過ごしていきたいです。

鈴木 晴恵 ●新入生

これからの4年間、自分に甘えず、しっかりと勉強していきます。且つ、部活やサークルにも積極的に参加して、充実した大学生活を送りたいです。

鈴木 祐美 ●新入生

これからの勉強は患者さんの命に関わる内容になってくるので、今以上に慎重に、積極的に勉強していきたいです。また勉強や大学行事を通して様々な人と交流したいです。

鈴木 利奈 ●新入生

私は福島医大へ入学し、看護師になるという夢にほんの少しだけ近づけました。これから4年間、素敵な先生や先輩や仲間と囲まれ、理想の看護師になれるよう頑張ります。

Welcome Message

先輩からのメッセージ



3年 菅原 宏大

ようこそ！

こんにちは！もう新しい生活には慣れましたか？初めての90分間の講義についていけるか不安に思ったり、先輩たちからのものすごい部活の勧誘に驚いた人も多いかと思いますが、しかし同時に、大学生がいかに自由であるかということも既に実感しているのではないのでしょうか。そうです。大学は自由で楽しいところです！しかし皆さんも分かっているかとは思いますが、自由には責任がつきものです。大学生は社会からは

馬場 隆輔 ●新入生

私は将来、地域の方々に信頼していただけるような看護師になりたいです。そのために大学で看護師としての様々な知識や技術を学び、地域の医療に貢献できるよう頑張ります。

瓶子 歌穂 ●新入生

福島の医療に少しでも貢献できたら、と思い入学しました。これから、サークルや遊びもエンジョイしつつ、自分の目的を忘れず、日々努力して過ごしていきたいと思っています。

星 美尋 ●新入生

一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお祈りします。

堀内 舞 ●新入生

ずっと目標にしていた看護師に、一歩近づくことが出来た。毎日コツコツ頑張って充実した大学生活を送りたいと思います。これからよろしくお祈りします。

本多 藍 ●新入生

新生活が始まり、大変なことも多くありますが、自分が目標とする看護師になれるよう、日々学び、充実した大学生活を送りたいです。

米谷 紫野 ●新入生

学習はもちろんですが、サークル活動やボランティア活動、アルバイトなどにも積極的に取り組む、日々様々なことを学びながら、高い技術と知識、心を習得していきたいです。

前田 理絵 ●新入生

より多くの知識と技術をこの学校で学び、地域だけでなく国際的にも貢献できるような医療人になりたいと思います。

前原 めぐみ ●新入生

これからの大学生活の中で、勉強だけではなく、部活動にも積極的に参加していきたいです。そして楽しく充実した大学生活を送りたいと思います。

松本 桃子 ●新入生

私は福島医大の看護学部という優れた専門職を養う環境で学べることに誇りをもっており、勉強はもちろんサークル活動にも一生懸命取り組み、充実した大学生活を送りたいです。

松本 里帆 ●新入生

私は福島医大での看護の授業を何より楽しみにしていたので、能動的に参加し、毎日学習に励みます。またサークルに入り、交流などを通しながら視野を広げていきたいと思っています。

宮本 菜摘 ●新入生

大学では、看護師になるための幅広い知識と教養、またより高度な技術を学ぶため常に色々なことに興味を持ち、自主的に学び、とする姿勢を忘れずに4年間頑張りたいです。

柳沼 夏美 ●新入生

新たな出会いを通して、人脈の輪を広げ、人とのつながりを大切にしていきたい。毎日笑顔忘れずに、大変な勉強を乗り越え、楽しい大学生活を送りたい。

山岸 里美子 ●新入生

福島県立医科大学に入学することができ、嬉しいですね。これからは福島県の人役に立てるように頑張りたいです。

山田 紘子 ●新入生

友達を始め、先生方や先輩方など沢山の人々と関わっている面でも成長したいです。4年間充実した日々を送れるように勉強も部活も一生懸命頑張ります。

横山 梓 ●新入生

大学生活を楽しみながら、多くのことを学び、地域に貢献できる人になりたいです。

吉田 健人 ●新入生

私は、老若男女を問わずコミュニケーションをとることができると思うので、それを生かして地域医療に貢献できるように頑張りたいです。

吉田 茉央 ●新入生

新しい「大学」という場所で、学習だけではなく、たくさんの方のなかで、「自分を磨く」ということを心掛けて、4年間、充実した大学生活にしていきたいなと思います。

吉田 将人 ●新入生

看護師を目指すという初心を忘れず、向上心を持ち、がんばっていきたくと思います。4年間を楽しく過ごしたいです。よろしくお祈りします。

吉田 美香 ●新入生

この4年間で勉学に励むとともに、多くの人と出会い、様々な人と接することで、人間的にも成長し、福島県の医療に貢献できる看護師になれるよう頑張りたいと思います。

蓬田 美保 ●新入生

大学で看護の専門的な知識と技術を学ぶとともに、人との出会いを通して人間的にも成長できるように頑張りたいです。

渡邊 香 ●新入生

勉強も部活も頑張って、大学生活を楽しみたい。

渡部 恵子 ●新入生

入学して約一週間が経ち、まだまだ慣れない部分もありますが、勉強・部活共に頑張りたいです。

渡部 裕佳 ●新入生

私は、積極的に講義に参加し、看護師として働くための知識と技術を身につけたいと思っています。また、部活動も楽しみながら、充実した大学生活を送りたいと思います。

渡辺 若菜 ●新入生

県立医大では、自分だけで、どれだけ多くのことを学べるかが決まると思います。講義だけでなく興味ある部活やサークルに参加し、自分の人間性を高めていきたいと思っています。

編入3年生 7名

大久保 枝里 ●編入3年生

大学では、今までの臨床経験を生かしながら、より深い看護を学びたい。また、新たな出会いを大切に、充実した大学生活を送りたい。

貝塚 蘭 ●編入3年生

福島に来て驚いたことは、皆さんが本当にやさしく接してくださることです。その環境で学べるのはうれしく思います。よろしくお祈りします。

小林 香織 ●編入3年生

患者様中心のより良い医療を提供できるよう自己研鑽に励みたいと思います。

齋藤 とも恵 ●編入3年生

社会人からの編入で不安もありますが、それ以上に大学で学べる事の喜びや期待一杯です。地域医療を支える一員となるよう沢山の事を吸収し、日々努力していきたいです。

武山 美帆 ●編入3年生

編入生ということで不安もありますが、学年や学部を問わず、たくさんの方とつながりたいと思います。地域医療・看護の学習にも積極的に取り組みたいです。よろしくお祈りします。

長沢 早友合 ●編入3年生

福島県立医科大学では、幅広い知識の修得と共に、人間を深く理解し、倫理観を高めていきたいです。また、同じ目標を持った仲間と共にお互いを高め合い、頑張りたいと思います。

増子 健二郎 ●編入3年生

大学では、患者・家族を取り巻く地域医療の勉強に励みたいと思っています。3月まで臨床で働いていたときの悩みや疑問の解決を図り、振り返りながら学んでいきたいです。

太田 裕子 ●大学院生

頑張ります。よろしくお祈りします。

角田 厚子 ●大学院生

入学して学べることへの期待と、仕事との両立に対する不安があります。学生生活を楽しみ、そして、自分の課題を解決するべく、日々努力したいと思っています。

上遠野 幸恵 ●大学院生

学べることに感謝をしてがんばっていきたくと思います。

木村 三香 ●大学院生

仙台から頑張って通学します。よろしくお祈りします。

志田 淳子 ●大学院生

白河市から自動車通学します。大学院と仕事の両立は想像以上に大変だと思いますが、この貴重な経験を生かして成長していきたいです。よろしくお祈りします。

庄司真奈美 ●大学院生

心機一転、学生として日々勉学に励みます！

鈴木 妙子 ●大学院生

病院勤務をつづけながらですが、久しぶりの学生生活です。多忙が予測されますが、上手に時間を使いながら、貴重な学びの時間を楽しくできればと思っています。

武田 晶子 ●大学院生

久しぶりに学生になりました。学ぶ環境づくりに協力してくれた家族や職場スタッフに感謝しつつ、学ぶことの喜びを強く感じています。よろしくお祈りします。

田村 達弥 ●大学院生

二つ二つの出会いを大切に、自身の視野を広げていきたいです。人見知りな私ですが、どうぞ宜しくお願いします。

渡部 智子 ●大学院生

今回の進学は職場や家族の理解と協力により実現しました。感謝の気持ちを忘れず、限られた貴重な時間を大切にして、様々な考えや書籍にふれながら、看護観を深めたいと思います。

編入学をしてみよう

編入4年 皆川 綾



私は、専門学校を卒業し、4年制大学でもっと看護について深く学びたいと思い医大に編入学しました。専門学校と重複する内容もありますが、大学ではそこから一歩踏み込んだ家族看護学・地域看護学・障害者看護学を学ぶことができ、看護においてさらに広い視点をもつことができています。また、盛んな部活動にも参加することで、学部や年齢の壁を越えて様々な人と交流をもつことができます。編入学という立場で正直悩むこともありましたが、それもまた自分を成長させる意味でいい経験だと思っています。大学生活を通して学ぶことや得るものは大きく、人生における選択肢を広げたり、人間性を高めたりできるいいチャンスであると思っています。

せっかくの大学生活、楽しめないともったいない！貪欲にいきましょ。(みなかわ あや)

世界にひとつだけの花

大学院2年 今井 亮



花は手入れをしなければ枯れてしまいます。逆に手入れをしなくても枯れてしまいます。看護においても日々を漫然と過ごしていると、ただ時だけが過ぎゆき、いつの間にか自分の考える看護を实践することができなくなると、逆に看護への理想が高すぎると、自分の看

護だけではなく、仲間の看護も受け入れることができなくなり、大学院では、先生方や仲間と共に看護を語りあうことにより、自分の等身大の看護を見つめ直すことができます。さらに、新しい視点から自分の看護を客観的に考える機会を得ることが出来ます。自分の看護を自分自身が認められることは、きっと花が咲くがごとく、清々しいことだと思います。皆様と過ごすかけがえのない時間を、一緒に共有できることをうれしく思います。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。(いまい りょう)

新入生の皆さんへ

4年 土橋 一馬



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。現在どのようなお気持ちで大学生活を過ごしているでしょうか？まだなかなか馴染めずに不安に思っている人や、いろいろな人と出会って楽しく過ごしている人もいます。私

はもう4年生になります。これまでの大学生活はあつという間でした。1年生

新入生の皆さんへ

2年 遠藤 美穂



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活にはもう慣れましたか？私が大学に入学してからの1年間はあつという間でした。

「大人」と見なされます。その自覚を持ち、始まったばかりの大学生活を思いのままにエンジョイしてほしいと思います。

また、ぼくが皆さんにアドバイスできることは、仲間を大切に！ということ。仲間も大切にしてほしいと思います。

大学に入学してもう2年が経ちましたが、たくさんの仲間を支えられてここまで来ることができました。仲間がいれば学校生活もずっと楽しくなります。

辛いことだつて仲間がいれば乗り越えられます。だからぜひ皆さんにも、大切な仲間を作つていつてほしいと思います。

これから、同じ医療職者を目指す者として、共に頑張つていきましょ！

(すがわら こうだい)

Welcome!

新任教員挨拶



生徳看護学部 増田 元香

はじめまして

本年度から生徳看護学部(老人看護学)に着任いたしました。福島県で仕事をするのは初めてです。市内の至る所から望める吾妻連山の残雪の美しさに大変感動しました。これからどのような四季折々の風景がみられるのか、どのような方と出会えるのか期待しています。授業や実習を通して学生の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(ますだ もとか)



生命科学部門 森 努

こんにちは!

4月初めに医学部から生命科学部門に移籍してまいりましたが、雰囲気非常に良いことに驚かされました。

教員の皆さんも学生さんも非常に熱心かつ誠実で、「光と緑」という名前どおりの清新なイメージです。大学が進歩しつつあるという実感は、こうして肌で感じるものかと思われました。学部創設以来、発展にご尽力されてきた方々に、心から敬意を表します。

私も、科学で世界一を目指す中で、大学と社会の発展に貢献して参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

(もり つとむ)



ケアシステム開発部門 福島 直美

はじめまして

4月からケアシステム開発部門(地域看護学)に着任しました。名前は福島ですが生まれも育ちも関東です。

2年半前から仙台に移り住み今回縁がありまして福島県へ参りました。

この自然が豊かで素晴らしい環境で働けることをうれしく思います。教員1年目で行き届かないこともあるかと思いますが、みなさまと共に成長できるように精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(ふくしま なおみ)



ケアシステム開発部門 馬場 香織

よろしく お願い致します

4月からケアシステム開発部門(精神看護学)に着任いたしました。「もうこの雄大な光が丘の風景を見ることもないのかな」と、本大学院を卒業して5年。地元福島の看護教育・研究に携わっていましたが、縁あって、再び福島でお世話になることになりました。

改めて、これまでに出会い、支えてくださった方々に感謝し、そしてこれから出会う縁(えにし)を楽しみに頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

(ば かおり)



生徳看護学部 古溝 陽子

桜のように

この度、生徳看護学部(小児看護学)でお世話になることになりました。遠ざかっていた着なれないスーツに袖を通して、気をひきしめています。

桜は、厳しい寒さを経験してこそ美しい花を咲かせるといわれています。私も自己研鑽をしながら、責任をもって仕事に励み、一輪ずつ花を咲かせられたらと思っています。そして、多くの方との出会いの中から、さまざまなことを吸収して大きくなっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(ふるみぞ ようこ)



生徳看護学部 星野 聡子

はじめまして

本年度より生徳看護学部(成人看護学)に着任いたしました。

私は3月までの3年間は本大学院で学生1少しアルバイトというとてもマイペースな生活をしていました。また社会人として新しいスタートを切れたという安堵感と、教育という新しい世界に飛び込むことになり、緊張感が混在しています。ですがこのような機会をいただきましたことをとてもうれしく思っています。日々の感謝の気持ちを忘れず、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。

(ほしの ちかこ)



家族看護学部 菱谷 純子

よろしく お願い致します

本年度から、家族看護学部に着任いたしました。母性看護学・助産学領域で母性看護援助論と母性看護学実習、助産学実習と課題別実習等を担当させて頂いていただきます。福島県に住むのは初めてで戸惑うこともありますが、自然豊かなこの土地には、早く慣れることができそうです。

学生の皆さんに母性看護学、助産学の楽しさをお伝えすることが出来るよう努力していきますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

(ひしや すみこ)

Thanks!

退任教員挨拶

ありがとうございました

ケアシステム開発部門 竹谷 美穂

3月末で看護学部を退職致しました。約2年半前に参りました時に、研究室の室温28℃設定の中でウロウロしていたことを懐かしく思い出します。臨床を主に仕事をしてきた

第2の故郷を後にして

生徳看護学部 高橋 景子

東京駅に着くと、なんと東北人の多いことだろうと思いきや新幹線に乗ります。自宅の神奈川と勤務する福島への行ったり来たり生活に、終止符を打ちました。退職し

福島ので育児に専念します

生徳看護学部 石井 佳世子

一度、福島のを離れて大学院で学び、再びこの大学で4年間お世話になりました。この4年間の間に出産育児を経験し、再び小児病棟へ実習に行くこと、以前よりも子

また会う日まで

生徳看護学部 清水 昌美

私が初めて教育という仕事に携わったのが、ここ福島でした。学生さんにどう接すればよいのか、何を伝えるか、右も左もわからない状況の中で、出会ったみなさん

希望の種

ケアシステム開発部門 野田智子

着任当時、慣れない福島生活でふとした親切に感激したりほっとして、心細さが薄らいだことを思い出します。美しい福島の地で過ごした4年の間には、私の中にたく

お世話になりました

基礎看護学部 庄司 真奈美

看護職者としても、人としてもまだまだ未熟な私が、教員という立場で学生さんとどう向き合えばよいのか、悩み続けた3年間でした。しかし、一歩一歩着実に成長して

退職の挨拶

ケアシステム開発部門 矢野 正文

ケアシステム開発部門の助手を3年間勤めさせていただきましたが、3月で退職することとなりました。様々な貴重な体験や学びの機会をいただきましたこと、皆様から

お世話になりました

生徳看護学部 紺野 蘭子

2年間という短い期間でしたが、講義・演習・実習などを通して学生の皆さんと共に過ごした日々の中で、皆さんが学びを得た時の目の輝きは忘れられません。皆さんと一緒に多

貴重な半年

生徳看護学部 阿部 範子

半年という短い期間でしたが、大変お世話になりました。この半年の大半は領域別実習に行っていました。病棟に行くこと、自分が学生だった頃のこと鮮明に蘇り、緊張しながら実習を行う毎日でした。みなさんと実習に行ったことで、看護師として病棟

で働いていた頃には気づけなかったことに改めて気づくことができました。この半年の時間が貴重なものとなったのはみなさんのおかげです。ありがとうございました。

(あべ のりこ)

た私にとって、この大学から沢山のことをもらいました。学生や、若い教員からのパワーに刺激され、また福島県人の底力を知ることが出来ました。地域全体の視点で医療のあり方を考えること、をあらためて実感させて頂いたのは、この大学にいたことの収穫です。(福島ファンクラブに入ります)(たけや みほ)

(たかはし けいこ)

どもと心から遊び、病気の子どもをもつ母親の気持ちをより強く感じることができるようになった気がします。学生さんとの実習もとても楽しい思い出となりました。今後暫くは福島ので育児に専念したいと思っております。ありがとうございました。(いしい かよこ)

(いしい かよこ)

いろいろなことを教えていただき、育てていただいたという思いです。本当に、ありがとうございました。また、いつかどこかで、互いに成長した姿でお会いできることを楽しみにしています。また会う日まで、お元気で。(しみず まさみ)

(しみず まさみ)

さんのいろんな種が蒔かれました。今すべては希望の種となって、私を勇気づけ、新たな一歩を後押ししてくれています。感謝しつつ、みなさんの奮闘に負けないよう、春からの学生生活を送ります。福島看護のますますの発展を、心よりお祈りしています。(のだ ともこ)

(のだ ともこ)

いく学生の皆さんの頼もしい姿と元気な笑顔に支えられて、喜びや幸せな気持ちもたくさんもらうことができました。今後は大学院生として、先生方や学生の皆さんから教えていただいたことを大切にしながら、看護についてより深く学んでいきたいと考えています。(しょうじ まなみ)

(しょうじ まなみ)

たくさん温かな支援をいただいたことに深く感謝を申し上げます。今後は看護師として、大学での学びを実践に生かせるよう頑張りたいと思います。最後に、皆様のご活躍を心よりお祈り致します。(やの まさみ)

(やの まさみ)

くのことを学び、新たな視点で看護を深めることができたことは私の大きな宝物となりました。教育・研究活動でも看護学部教員の皆様には様々な場面でお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。4月からはこの学部での経験を活かし日々精進していきたいと思っております。ありがとうございました。(こんの らんこ)

(こんの らんこ)





家族看護
ワークショップの開催

家族看護学部門 畠山とも子

平成22年6月4日から6日に郡山で日本家族研究・家族療法学会が開催されました。3日目(6月6日)に家族看護のワークショップを行いました。看護師が遭遇しやすい対応場面」というテーマでした。臨床経験のある看護職なら必ず一度は経験したことがある「対応の難しい」場面を取り上げました。

平成20年4月に家族支援専門看護師が誕生しました。患者さんとご家族は一つ屋根の下で生活を共にしているので良くも悪くも影響を与えます。患者さんが病むと家族も病みます。また、家族の中から病気を作ってしまうこともあります。時と場合によっては、患者さんだけに目を向けるよりも家族をケアの対象と考え看護をするほうがずっと効果的なこともあります。

今回のワークショップは、臨床経験のある看護職の方を対象としました。家族看護の基本となる知識を踏まえ、具体的にどのようなポイントについて、介入のポイントについて、講義・事例検討・ロールプレイを通して豊富な学習をしていただきました。(はたけやま ともこ)



言語学と語用論

総合科学部門 中山 仁

言語学の目的の一つは人間の心(mind)のあり方を理解することにある。なぜなら、言語は人間の精神活動の一部だからである。そのための接近法は様々である。連続した音声を切り分け、切り分けた要素の配列を一般化したり(音韻論)、語順を決める原則を考えたり(統語論)、文の解釈に影響を与える意味の一般化を行ったり(意味論)といった方法がこれまでの中心であった。これらの接近法は言語自体を他の精神活動とは独立したある種の自律的モジュールと見なすことを前提としている。

一方、言語自体と他の精神活動との接点について言語学の領域で本格的に取り組むようになつたのは比較的最近のことである。具体的研究領域の一つが語用論(Pragmatics)で、これが今の私の研究の中心である。語用論の目的は、一言でいえば、発話の形式・意味と話し手の意図する意味とのずれの原因を認知的な観点から体系的に説明することにある。研究そのものには抽象的概念がつきものだが、研究の過程で得られる個々の具体的データ(例えば接続詞や関係詞節の伝達上の特徴など)は学部での英語の授業や辞書記述などにも反映させて、学生がコミュニケーションについて理解を深めるのに役立たせたいと考えている。(なかやま ひとし)

看護学部カレンダー

- 6月18日(金)
 - 開学記念日
- 7月3日(土)
 - オープンキャンパス
- 7月5日(月)～8月27日(金)
 - 助産学実習
- 7月12日(月)～8月27日(金)
 - 夏期休業(4年次)
- 8月2日(月)～9月17日(金)
 - 夏期休業(1年次・2年次・3年次・編入3年次)
- 9月16日(木)・17日(金)
 - 集中講義「医療経済学」(2年次・編入3年次生選択科目)
- 9月17日(金)
 - 編入学試験
- 10月27日(水)
 - 解剖慰霊祭(1年次)
- 10月30日(土)・31日(日)
 - 光が丘祭

編集後記

春 福島では梅と桃と桜が同時にきれいな花を咲かせました。そして、4月の積雪としては26年ぶりという、満開の花に雪という幻想的な光景もみられました。淡いピンクの花から、次にやってくるのは鮮やかな緑の季節です。進入学の皆さんにとっては日々新しい刺激があることと思えます。在校生も私たち教員も、去年と同じようでも違う!日々、周りの景色の変化や新しい出会いから、自分の成長を楽しめますように。(いづつか まき)

【編集委員】

- 林 正幸、本多たかし
- 横田 素美、飯塚 麻紀
- 野田 智子、濱尾 早苗
- 酒井真知子、庄司真奈美

平成21年度
看護学部卒業生の
進路状況

卒業見込者	92
就職	81
県内	36
県外	45
進学	7
その他	4

平成21年度
保健師・助産師・看護師
国家試験の合格状況

	保健師	助産師	看護師
受験者(人)	91	6	82
合格者(人)	84	5	81
合格率(%)	92.3	83.3	98.8
全国合格率(%)	87.8	83.2	93.9